

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

そよかぜ

日付 平成 20年 2月 18日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

今回、連続4回の外部評価を続けさせてもらった。平成14年7月に設立し、約5年半経過した経緯に触れ、どのようにして今日のホームの姿をつくり上げてきたのかを含めて見てみたい。このホームは母体の医院の下で、介護保険制度の中で始めて建設された。

池田医院は地域医療に徹し、地域の人々の健全な生活は、医療と福祉・介護が一体化していなければならないという院長の考えの基盤がある。

デイサービスセンターの充実と共に、このグループホームが誕生して、前進のホームと共にグループホームの運営総括責任者を置き、院長と共にホームの運営方針がしっかりしていた。理念は、「人間として尊厳」「利用者の選択の自由」「個別ケア」を掲げ、利用者に対する対応方針を定めている。(共通事項)

このホームの一貫したケアマネジメントは、利用者一人ひとりの持っている能力を大切に、その維持に努め、それぞれの人に応じた個別ケアに徹していることである。利用者は100歳前後の高齢者が多く、要介護度も4~5の人が半数以上であり、個別ケアの重要性を物語っている。

設立して2~3年は、利用者との言葉によるコミュニケーションを大切に、ホームの優しさや暖かさを強調してきたが、利用者の状態が重症化してくるにつれて、笑顔などの表情によるコミュニケーションを大切にするようになっていく。能面のような人が入所してくると、食事をできるようにし、歩けるようにして身体機能を回復することにより、精神的にも機能回復をして笑顔豊かな人間回復させた事例も多くある。

家族と地域の人々との交流を大切にしている。この地域で住んでいた人も多く、毎週近くの空地で開かれる昼市で、野菜や果物を持って来る生産者と買物に来る地域の住人、そこにホームの利用者も加わった地域交流を楽しんでいる。家族もよく来て交流している。

利用者に対する個別ケアにより、利用者自身が人間として生活できるようになり、その相乗効果によってホーム全体が家庭的な雰囲気で維持していける。

管理者を始め、職員全体の心の通じ合える関係が続けられて、このホームの良さを維持しながら、一つひとつの生活の場を改良していけるだろうと期待している。

特に改善の余地があると思われる点

介護計画と記録の様式や運用の仕方には、改良を加えてきた実績を認める事はできるが、計画と記録から利用者の生活ぶり全てが読み取れるものがあれば、家族も大変理解しやすくなるのではないかと思います。グループホームは利用者が24時間365日生活している場なので、全ての生活を計画と記録に集約することができる。介護計画は利用者をどのように支援して生活していこうとしているかの「生活のシナリオ」であり、記録は、利用者がどのように生活できたか、「その人の人生の結果を読み取れたら、素晴らしいものになるのではないかと思います。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…：理念は、利用者に対するケアの基本を定めているので、これの一つひとつ具体的な行動で実現していくよう、毎年計画をたてて職員が共有していただきたい。</p> <p>2. 全体的に見て…：池田医院の運営する5つのグループホームの理念は、「人間としての尊厳を大切に」「一人ひとりの選択の自由」「一人ひとりの能力に応じた個別ケア」を掲げている。この理念の実現のために、過去4回の外部評価で見せていただいた実態は、利用者一人ひとりの精神的身体的な能力に応じたケアを確実に実行しており、一人の人間性を取り戻している事実を確認することができた。それが利用者全体にとっても相乗効果を生み、ホーム全体の生活を豊かにしている。</p> | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…：生活空間は、広いリビングルームがあり、各居室もそれぞれに自分の住家として整えているので、空間そのものに対する改善事項はない。その中で利用者や職員が少しでもより良い生活が出来るような改良を加えていこうと考えている。</p> <p>2. 全体的に見て…：ホームは建物の2階にあり、リビングルームとキッチンが広々とした空間を形成している。食事の準備や洗濯物の片付け等は食卓を利用するが、寛ぎの時間帯はソファでゆっくりしながらテレビを見たり、カラオケをして楽しんでいる。利用者は2つの空間をうまく活用している。全体が2階にあるので、散歩や昼市に出掛けるようにして、外の空気に接して四季を感じながら生活するよう心掛けている。</p> | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人でできることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にした整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物の支援 | | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…：ケアマネージメントについては改善事項はないが、3つの理念を実現するために、一つひとつの具体的計画を実行していく事と、介護計画や記録の運用を生活に密着させていけるよう取り組み方を改良したり、利用者一人ひとりの人間回復のための機能改善に力を注いでいる姿は評価できる。今までの利用者への思いを貫いていってほしい。</p> <p>2. 全体的に見て…：能面状態で入所してくる利用者、排泄ができない人、歩けない人等、人としての機能を失っている部分を職員のケアによって補い、回復させてあげ、一つひとつ生活機能を高めてあげる努力をしている。介護職としての日常の努力は、一人の人間全体として機能回復をするために援助をする。そして、一人ひとりが自立して生活していけるという尊い仕事に従事していることは、実に尊いことであり、この仕事に対して、もっと認識を深めるべきである。</p> | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 災害対策 | | |
| 33 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 34 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 35 | 運営推進会議を活かした取組 | | |
| 36 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 37 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 | | |
| 記述回答 | <p>1. 自主評価について…：このホームは2階に位置しており、火災や地震があると避難することが難しいので、万一の場合は、近所の人への応援を得なければならないので、日頃から地域の人々へ働きかけが必要と考えている。運営推進会議の重要な課題として、認知症に対する啓発と共に日頃からの交流を検討する事は重要である。</p> <p>2. 全体的に見て…：このホームの管理者が今年度交替して、今、半年余りでまだ自分なりの管理が出来ていない状況にある。他のグループホームでの経験はあるが、このホームの職員達の気持ちに打ち解け、職員同士の心の通い合いも出来るようになった。これからは、今までのホームで培ってきたケアの基本を具体的に実現して、利用者全員に笑顔が一つでも多く見られるようなホームの生活づくりに職員と共に努力していき、又、新しい風を吹き込むことも期待しておきたい。</p> | | |